

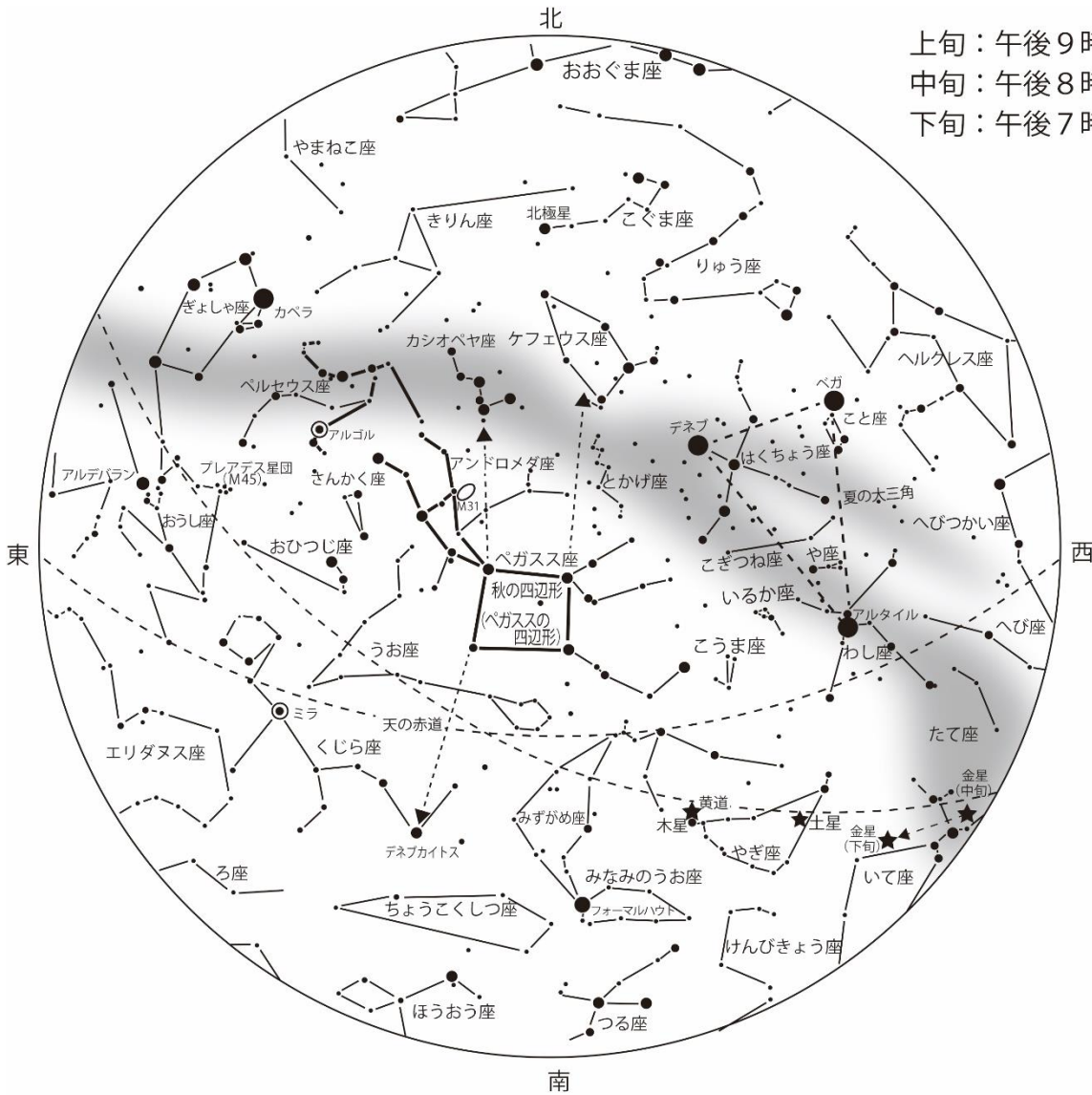
# 令和3年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

上旬：午後9時ごろ  
中旬：午後8時ごろ  
下旬：午後7時ごろ

秋の夜空では、ギリシャ神話「古代エチオピア王家の物語」(アンドロメダ姫を巡る物語)に出てくる登場人物が星座として輝いています。これらの星座を探すためには、まず頭の真上付近にある同じくらの明るさの星4つで作る四角い星の並び『秋の四辺形』を探しましょう。『秋の四辺形』はペガサス座の一部で、ペガサス座にはアンドロメダ姫を助けた勇者ペルセウスが乗っていた空飛ぶ天馬が描かれています。『秋の四辺形』の左上(北東)の星を頂点としたアルファベットの「A」のような星の並びはアンドロメダ姫の星座、**アンドロメダ座**です。アンドロメダ座の東側で、2等星と3等星の星が漢字の「人」のように並んでいるあたりが勇者ペルセウスの星座、**ペルセウス座**です。次に『秋の四辺形』の西(右)の辺を北にのばしていくと、細長い五角形の星の並びが目印の**ケフェウス座**が、『秋の四辺形』の東(左)の辺を北にのばしていくと、「W」の字に星が並んでいる**カシオペヤ座**が見つかります。ケフェウスとカシオペヤは、アンドロメダ姫の両親で、古代エチオピアの国王と王妃です。そして『秋の四辺形』の左(東)の辺を南の地平線の方へと伸ばしていくと、2等星の**デネブカイトス**が見つかります。デネブカイトスは「くじらのしっぽ」という意味で、ここにはアンドロメダ姫を襲い、ペルセウスに退治されたお化けくじらの星座、**くじら座**があります。

秋の夜空で星座を巡りながら、神話の世界に思いを馳せてはいかがでしょうか。



## <見ごろの惑星> (☆マークは、今月のおすすめです。)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 水星(-1.0等前後):おとめ→さそり座付近   | 夜明け前、東南東の低空で輝く。(上旬)   |
| ☆金星(-4.5等前後):へびつかい→いて座付近 | 日の入り後、南西の空でひととき明るく輝く。 |
| 火星(1.6等前後):おとめ→てんびん座付近   | 観測に適さない。              |
| ☆木星(-2.4等前後):やぎ座付近       | 20時頃、南西の空で明るく輝く。      |
| ☆土星(0.7等前後):やぎ座付近        | 20時頃、南西の空で輝く。         |

## 注目の天文現象 ～部分月食を楽しもう～

19日は、今年2度目の月食が起こる日です。月食とは、満月が地球の影に入ること、月が欠けて見えたり暗くなったりする現象です。今回見られる月食は、地球の影に月の一部が入り込むことで月が欠けて見える「部分月食」です。月が東の地平線から昇ってくる時刻は17時12分で、すでに欠けた状態の月が昇ってきます。その後、月は徐々に欠けている部分が大きくなっていき、18時3分に最も欠けた状態(食の最大)となります。地球の影の中に月が完全に入り込むと、月が赤黒く色づいて見えることがあります。今回の月食は、月の約98%が地球の影の中に入り込んでしまうため、食の最大の頃には、影に入った部分が赤黒く色づいて見えるかもしれません。その後、月は明るく輝く部分が徐々に大きくなっていき、19時47分に部分月食が終わります。

今回の月食は東の空低い所で起こります。日が暮れると寒さも増しますので、寒さ対策をして、東の方向がひらけた場所で月食を楽しんでください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
5	金	● 新月 (06:15)	19	金	○ 満月 (17:57) 部分月食 (部分食の始め 16:18、食の最大 18:03、部分食の終わり 19:47)
7	日	立冬 (13:59)			
11	木	☾ 上弦 (21:46)	27	土	☾ 下弦 (21:28)